

道徳教育の全体計画

北海道札幌月寒高等学校

関係法令

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領及び解説

社会の要請、地域や生徒の実態等

- ・「自主・自立」の校風の中で、自己管理に努め、基本的な生活習慣を確立してほしい。
- ・「親和・協力」の精神で社会性を育み、規範意識を高めてほしい。
- ・学校の教育活動全般(学習、部活動、諸行事等)を通して、均衡のとれた人間性を育ててほしい。

学校の教育目標

1. 豊かな自己実現をめざし積極的に課題解決を図ろうとする意欲を育む。
2. 広い視野と豊かな人間性を持ち世界の平和と福祉に貢献しようとする態度を育む。
3. 進んで心身を鍛え粘り強く逞しく生きようとする活力を育む。

道徳教育の重点目標

1. 自己理解と将来の展望に立ち、「自主・自立」的な生活態度をもって、豊かな自己実現を図れる生徒を育成する。
2. 「高い次元での文武両道」を実現させるため、学習と部活動をともに充実させ、均衡のとれた人間性の成長を促す。
3. 「親和・協力」の精神のもと、規範意識と思いやりの心を持ち、明るく健康な生徒を育て、健全な社会を形成しうる人材を輩出する。
4. 社会の動きや自然環境の変化に目を向け、自覚と責任ある行動を促し、国際社会で活躍できる人材を創出する。

道徳教育の推進体制

《総務部》
式典準備、PTA連絡調整、行事推進、会報発行、各案内・集約、同窓会関係の記録・保管、学校広報業務、防災計画、避難訓練計画・検討・実施、「学校評価」などの集約。

《教務部》
宿泊の行事に係る事項、教育課程に係る事項、授業に係る事項、ホームルーム及び「総合的な学習の時間：探究の時間」に係る計画、研修に係る事項。

《生徒指導部》
校内外生活指導に係る事項、交通安全指導に係る事項、生徒会・各種委員会・部活動に係る指導、ホームルームに係る指導、保健指導に係る事項、環境衛生に係る事項、教育相談に係る事項。

《進路指導部》
進路シラバスに係る事項、進路相談の企画・実施、進路調査及び生活時間調査の実施・集計・報告、学力分析会の企画・実施、大学説明の計画・実施、進路に関わる講演会の企画・実施。

《図書情報部》
学校ホームページ(以下、HP)の運営・管理、芸術鑑賞等の企画・実施、図書オリエンテーションの実施、読書啓発活動の企画・実施。

各教科・科目、総合的な探究(学習)の時間、特別活動における関連

●教科・科目●

- 《国語科》**
・古今の様々な文章を読み味わうことで、人間としてのあり方について考えさせる。
- 《地歴・公民科》**
・様々な国の歴史や地理の学習をおして、他者の置かれている状況に共感できる力を養う。
・個人の尊重を基礎として、人間の尊厳とあり方・生き方について考察させ、他者と共に生きる態度を養う。
- 《数学科》**
・論理的思考力の鍛錬を通して、公正さの基盤となる、物事を客観的にとらえる力を養う。
- 《理科》**
・理科各分野を通して、自然との関わりや生命について学ぶ中で、科学的な知識・技術をさらに活用・発展させていく上で必要な倫理観を養う。(例：生物：遺伝子操作・性・健康、化学：薬物の功罪など)
- 《保健体育科》**
・体育実技の中で、運動を実践する上で、協調性・社会性を身につけられるよう、1年次から指導し、学年が上がるにつれ、グループ活動(選択制授業)を導入し、集団での他者を尊重する心を育む。
- 《芸術科》**
・様々な芸術作品に接し、制作・鑑賞・演奏活動などを通して、感性豊かな生徒を育てる。
・制作・鑑賞など知的創造活動を通じて「物事に真摯に取り組む姿勢」や、「自ら学ぶ考える」ことの大切さ、そして「人は何に深い感動を感じるか」という道徳的な心情を育む。
・地球資源保護、環境保護の観点から、教材・教具を大切に扱う心を育てる。
・共同で使う用具や集団で行う授業において、「物を大切に扱う心」と「自ら律し、他者を思いやる心情」を育てる。
- 《英語科》**
・読解教材を通して、登場人物の心情表現を理解したり、人間の生き方、あり方について触れるなど、道徳心を培う。
- 《家庭科》**
・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、生活に必要な知識と技術を習得させる中で「道徳的」な項目を実践する。
- 《情報科》**
・情報の科学の学習内容である「情報モラル」を扱う部分で「道徳的」な項目を実践する。

●総合的な探究(学習)の時間：「探究の時間」●

- ・自己を見つめさせることを起点として、他者(家族、地域、社会、世界)にも関心を広げ、一方他者に目を向けることを通して、自己探究を深める相互扶助性を培う。
- ・自己表現力(=自分の考えを他人にわかりやすく話す力)、発想力(=既に確立されている知見にとらわれず、自ら考える力)、論理的思考力(=物事を筋道を立てて論理的に考察する力)、探究力(=不明なこと、理解できないことを納得できるまで追求する態度)を培うことで、人間として調和のとれた育成を目指し、「生きる力」を育てる。
- ・自らの将来に夢と目標を持ち、主体的に自己実現に向けて邁進する意欲を喚起し、自己実現を図ることを通して、国家・社会の一員として活躍できる人材を育成する。

●特別活動●

- 《ホームルーム活動》**
・ホームルームや学校生活への適応を図るとともに、その充実に、生徒が直面する諸課題への対応及び健全な生活態度を育成することを通して、以下のことを主に達成する。
 1. 青年期の悩みについての理解とその解決
 2. 自己及び他者の個性の理解と尊重
 3. 社会生活における役割と自己理解
 4. 男女相互の理解と協力
 5. コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立
 6. ボランティア精神の涵養
 7. 国際理解と国際交流を通じた他文化理解
 8. 心身の健康と健全な生活態度及び習慣の確立
 9. 生命の尊重と安全な生活態度及び習慣の確立
 10. 望ましい職業観・勤労観の確立
 11. 主体的な進路の選択決定と将来設定
- 《生徒会活動》**
・生徒会活動の活性化を目指し、生徒会の計画や運営を自主的に行う態度を育成し、生徒会行事や各種委員会活動を通して、異年齢集団による交流を活発に行い、集団・社会の一員としての役割を涵養する。
・「高い次元での文武両道」を目指すため、部活動を積極的に支援するとともに、部活動を通して基本的な生活習慣の確立を図り、心身共に調和のとれた人間性を育成する。
- 《学校行事》**
・学校行事を通して、全校又は学年を単位として、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う。
・学校生活の中で節目となる行事(=儀式的行事)を通して、学校生活に有意義な変化と折り返し目を付け、規則正しい生活のあり方を考える。
・文化や芸術に親しむ行事(=文化的行事)を通して、平素の学習活動に対する意欲を高めるとともに、豊かな心を育て、伝統や文化を尊重する精神を培う。
・心身の成長、保全を育む行事(=健康安全・体育的行事)を通して、自己理解を図りつつ、安全な行動や規律ある集団行動を体得し、責任感や連帯感を育み、他者への配慮のできる力を養う。
・平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむ行事(=旅行・集団宿泊的行事)を通して、集団生活における自分の役割や他者への配慮を学び、また日本の様々な文化に触れ、文化の多様性を理解することを通して我が国と郷土を愛する心を育てる。
・勤労の尊さやそれによる達成感を体得する行事(=勤労生産・奉仕的行事)を通して、ともに助け合って生きることの喜びを共有し、社会の一員としての役割を果たし、協働観や責任感を育てる。



生徒指導における関連

- ・基本的な生活習慣の確立に努め、生徒自らが規範遵守意識を持ち、自己管理できる能力を育成する。
- ・生徒会活動や学校行事を通じ、集団や社会の一員としての自覚を持ち、規律・責任・協調を重んじる態度を育成する。
- ・交通安全への意識高揚を図り、主体的に交通安全活動のできる生徒を育成する。
- ・心身の調和のとれた健全な生徒の育成に努める。
- ・健康的で安全な学習環境の整備に努める。
(平成30年度『学校要覧』「生徒指導部」重点目標より)

学校の環境の充実

- ・学校HPの開設
- ・学校評議委員会の設置
- ・「学校評価」(対象：学校評議委員)の実施、分析、公開
- ・「学校アンケート」(対象：3学年在籍の生徒及び保護者)の実施、分析
- ・保護者対象「月高祭出店企画・運営」への参加
- ・「札幌市学校教護協会」主催の研修会への参加
- ・学校通信「月高NOW」の発行

家庭・地域との連携

- ・家庭や地域との連携を深めるため、学校内の協働体制の確立に務めている。
- ・PTAや同窓会との連携を図り、円滑な運営体制を確立するように務めている。
(例)PTA役員・運営委員会主催、PTA学級役員活動、PTA会報編集・発行、月高祭出店企画・運営、各種講演会の呼びかけ・参加、同窓会報発行など。
- ・「札幌市学校教護協会」主催の研修会に参加し、地域の小中高を図り、情報の共有化、協働体制を築いている。
- ・交通安全指導、防災避難訓練において、外部から講師を招聘し、指導助言を受け、講演をいただいている。
- ・夏季休業中を中心に、学級担任が保護者と懇談会を実施し、学習・生活・進路について意見を交流している。
- ・学校評議員会を設置し、また年度末には「学校評価」「学校アンケート」を実施し、家庭・地域の本校への意見を聴取する体制を作り、実施している。
- ・各種広報誌(例：「月高NOW」、「月寒丘」、「つきさっぐ」、各学年通信など)を定期的に発行し、教育活動の発信をしている。
- ・「地域巡検」を地歴公民科の授業時に実施し、月寒地区の地誌を学ばせている。

異校種との連携

- ・「札幌市教護協会」での地域の小中学校との連携(生徒指導部・生活指導係)
- ・大学、各種専門学校との連携(進路指導部)
- ・地域の幼稚園・保育園との交流(教科・家庭科、生徒指導部・生徒会係)